

わくわくデーだより

～第5楽園クラブの方と交流しました～

平成27年5月22日

平田保育所

5月7日（木）に、ぱんだ組になって初めてのわくわくデーがあり、ぱんだ2組の11人の子どもたちと平田第5楽園クラブの方との交流会がフレンドリーハウスでありました。初めての訪問に子どもたちも朝から楽しみにしている様子が見られましたよ。フレンドリーハウスでは子どもたちから積極的に話しかけたり、挨拶をしたりしていました。

まず最初に、子どもたちが自分の名前を言って自己紹介をしました。その後、ちゅーりっぷやこいのぼりの歌と一緒に歌ったり、おじいさん・おばあさんがされる銭太鼓を見せてもらったりしました。初めて聴く歌や銭太鼓を、子どもたちは興味津々で見っていましたよ。せっかくなので、“ももたろう”の音楽に合わせて子どもたちも銭太鼓をさせてもらいました。おじいさん・おばあさんのやり方を一生懸命真似しながら、銭太鼓を動かしていましたよ。また、新聞紙でかぶとや紙鉄砲も作って遊びました。真剣な眼差しでおじいさんやおばあさんに折り方を教えてもらっていました。できあがったかぶとを嬉しそうに被り、紙鉄砲が鳴ったときは、「先生、鳴ったよー。」と言ってとてもうれしそうでした。保育所に帰ってからも、友だちと作り方を教え合いながら楽しそうに作る姿がありました。

このような地域の方とふれあう機会を通して、子どもたちは昔ながらの遊びを知ったり、地域の方にもかわいがっていただいていることを感じたりでき、いろいろなことを経験できる大切な時間だと感じているところです。



すごいな～

ここはね・・・



今年度は、ぱんだ1・2組が4グループに分かれて2回ずつ、第5楽園クラブの方々と交流します。